

デュアルスキーパイロット資格概要

トレーニング ディレクター

検定員ライセンス

ライセンス取得基準

- I.C.P.取得者、及び、100時間以上の実車滑走
- 検定試験（フランス及び国内）

I.C.P. - International Commercial Pilot

事業用 国際ライセンス

デュアルスキーの受け入れ可能な国内外全てのスキー場で事業滑走が可能

ライセンス取得基準

- フランス本国での3日間（18時間）の実務及び座学研修
- 国内スキー場でのトレーニング：3箇所3日間／18時間
- ソロトレーニング：14時間
- デュアルスキー国内滑走可能スキー場3箇所以上でのトレーニング
- 検定試験（フランス および 日本）

C1- Commercial Pilot of Japan

事業用 国内ライセンス

デュアルスキーの受け入れ可能な国内全てのスキー場で事業滑走が可能

ライセンス取得基準

- 国内4日間の実務及び座学研修
 - 24時間以上の滑走（基礎トレーニング12時間 かつ、IOE Partnerスキー場 2箇所各6時間）
 - 3名以上の実車滑走
 - IOEオフィシャルスキー場 3箇所以上のスキー場での実走
 - 検定試験
-
- ライセンス取得には、フランス国家検定2級程度の技術が必要です。（参考：日本においては、SAJ1級もしくは、SIAセミゴールド以上）
 - トレーニングでは、およそ受講者の体重分のおもりをデュアルスキーに積載し（最大積載90kg）トレーニングを行います。デュアルスキー本体の重量はおよそ40kgです。
 - 上記トレーニング滑走時間は最低基準時間です。検定試験に合格するために必要な滑走時間には個人差があり、検定試験合格を保証するものではありません。